

## テント一週一文（し）—— 「はとぼっぽ通信」221号 小泉元首相の脱原発講演録（その2）

（承前）

### テント前の会話 1：議員をターゲットにしてごらんなさい

風が少し強くなった春の日ですが、九電本店前の「テントひろば」ではそれぞれ書類を読んだり、資料をまとめたりして会話は途切れがち。自転車でこのテントに30分かけて手伝いに来る男性（以下「自」さん）が顔を上げて「アラ」と言います。その目の先は、テントの九電本社玄関側の外に向いています。そこには机が置いてあり、その机の上にはこのテントへの賛同者名を記入するノートが広げられていて、賛同者を募っているのです。そのノートに、今、男性が記名をしようとしています（以下この男性は「記」さん）。先ほどその机の上に賛同者ノートを広げたり、賛同者に手渡すテント関連の資料を揃えたりしていた女性（以下「机」さん）が、「アラアラ」と言いながら、急いでテントを出ます。

机：賛同人になっていただきまして、有り難うございます。それからですね、このテントの世話人代表の青柳さんが毎日メイリングリストを発送しておりまして、それに賛同者総数と賛同者名を書いています。その際にお名前を記載して宜しければ、ここに「可」または「○」を、お名前を記載していけないようでしたら、「不可」または「×」を記入していただきたいのですが。

記：はい「○」。

机：メールはお使いですか？

記：使いますよ。

机：そのメールアドレスに、青柳さんが毎日発送しているメールをお送りしてもよいようでしたら、ここにメールアドレスを書いていただけませんか。

記：毎日送られて来るの？

机：毎日です。

記：長いの？

机：日本全国の原発の情報がいろいろ載っていますからね……

記：見てみようかな～。

机：アドレスははっきりと書いてください。

記：はいはい。

机：お住まいはどちらですか？ あっ、南区ですね。ここはよく通られますか？

記：時々通りますよ。テントはもう何年になりますか？

机：8年目に入りました。

記：僕は、原発はないほうが良いと思っているけれど、脱原発の運動って、今一つ広がっていないように思うのですがね。

机：世論調査では、約60%の方々は、原発はない方が良いと回答していますが……

記：九州では原発の再稼働が続いているし、市民の感覚や考え通りにはなっていませんね。

机：でも多くの国民が反対しているんですから、国の方針は脱原発に変わってもいいはずなんですけどね。

記：変らないですね。少なくとも、今の運動の進め方では変らないですね。ターゲットが違うと思う。

机：色々な方々に働きかけてはいると思うのですが。

記：僕も幾つか市民運動じみたことをしていますが、脱原発の運動はターゲットを議員にすべきだと思っています。

机：市議員とか、県議員とか？

記：先ずそこですね。

机：とくに原発に関しては、原子カムラとか、日本の核装備を目指すとかいう、私たちには及びもつかない組織や立場とかがあるそうですから、そこに効果を及ぼすには、まずは市民の力だと思うのですが。

記：いやいや議員の方が効果的ですよ。

机：選挙で？

記：選挙は4年に一度しかないので、間延びする。今すぐ近くの議員さんに声をかけてごらんになっては、いかがですか？

机：私自身は、議員さんをほとんど知らないのですが、どうしていいかわかりませんが、すでに色々なレベルで働きかけている人はいらっしやると思います。

記：まっ、それならいいけど、要は効果をあげる闘いをする事ですね。僕は、先ずすることは議員さんへの働きかけだと思いますよ。さようなら。

机：またここを通ることがあったら、寄ってください。

記：バイバイ。

## テント前の会話 2：モナコ、どこ？

机さんは賛同者が増えたのはいいのですが、どんな対応をしたらいいのか分からなくて、しょんぼりしてテントに入ってきました。

自：どうしました？

机：難しいことを言われて、何と答えていいのか分らなかったのですよ。

自：あっ、そんな時には直ぐ村長さんと呼んだ方がいい。

机：そうだったわ。村長さんはどこにいるの？

自：今は外で電話しているよ。

机：残念だったわ。

と、「自」さんは、机の前に女の人が立っているのに気づいて、「あれ、また来てくれた」と急いで机の方に行きます。「こんにちは」と頭を下げたのですが、いつもとは少し雰囲気違います。言葉があまり話せない外国人でした（以下「外」さん）。

自：こんにちは。

外：コンニチハ。

自：何かお探しですか？

外：ハイ。

自：お店ですか？

外：ハイ。

自：もしかしたらそのお店は天神じゃないですか。ここは渡辺通りです。あまりお店はありません。

外：ソウデスカ。ココハ、キュウデンデショウ？

自：ここはキュウデンではありませんが、マ、いいでしょう。目の前がキュウデンです。受付と一緒に行きましょうか？

外：イイエ、イイデス。キュウデンノチカクノミセデス。

自：何というお店ですか？

外：モナコトイイマス。

自：モナコ？ 知りませんね～。ちょっと待ってください。机さ～ん。

机：何？

自：モナコってお店知りませんか？

机：モナコ？ パチンコ屋じゃない？

自：パチンコ屋ですか！ パチンコ屋？

外：ソウデス、ソウデス。

自：さて、そのパチンコ屋が分らない。机さん、知ってる？

机：モナコって名前かどうかは知らないけれど、ホラ、そこに見える四つ角を左に曲がったところにパチンコ屋はあるわ。

自：分る？

外：ワカリマス。アリガトウゴザイマシタ。

自+机：お気を付けて。

## 小泉講演会について

自：ここは脱原発アピール詰所 兼 観光案内所ですね。

机：でもさっきは答えられなかったけど、今度は分かってよかったわ。

自：あなたはパチンコをするの？

机：しませんよ。あっ、しまった、間違ったわ。パチンコ屋は四つ角を左じゃなくて右だったわ。

自：さっきは答えられなくて、今度は間違えて、落ち込まないでくださいよ。

机：あなたは残酷なことを平気で言う方ね。

自：それはそうと、先週は「はとぼっぽ通信」220号の「小泉純一郎元総理講演会「日本の進むべき道」講演録(その1)」を紹介してくれたけど、(その2)もあるの？

机：ありますよ！2018年2月の「はとぼっぽ通信」221号に掲載されています。

自：この講演会を主催したのは「原発設置反対小浜市民の会」？

机：そうじゃないの。10名の有志で作った「小泉純一郎元総理大臣の話を聞く会」が主催したそうよ。

自：小泉元首相を呼ぶのですから、資金集めなども大変だったでしょうね。

机：あれ？ 残酷な方なのにご存じない。

自：残酷じゃないですよ。心優しきテント支援者です。それで何を知らないって？

机：原自連のページ（[http://genjiren.com/pdf/leaflet\\_genjiren.pdf](http://genjiren.com/pdf/leaflet_genjiren.pdf)）によると、小泉さんも含めてメンバーの講演は講演料と交通費は無料だそうよ。「原発立地自治体の登録団体優先」って書いてあるからどの団体でもというわけにはいかないかも知れませんね。それに小浜での後援会は昨年9月だったから、現在の原自連のページに記載されている通りだったかどうかは私には判らないけど。

自：先日4月25日の新聞によれば、福岡市でもグリーンコープが小泉さんの講演会を開いたって載っていましたね。

机：小浜では会場に入れにくいくらい好評で別室を用意してマイクで聞いて貰った人もいたそうけど、福岡ではどうだったのかしら。

自：新聞にはそのことは載っていなかったわ。

机：そう。ともかく議員さんにも働きかけて、市民にも呼びかけて、脱原発のうねりを大きくしていきましょう。

机さんも元気が出てきたようです。風は少し弱まって、テント内での会話はにぎやかになってきました。

(文責 栗山次郎)

2018年4月30日公開

-----  
参照：原発設置反対小浜市民の会発行「— 若狭の原発を考える — はとぼっぽ通信」

第221号(2018年2月) 1～8ページ

表紙 [http://npg.boo.jp/kieyuku/week\\_repo/hatopopo221\\_hyoshi.pdf](http://npg.boo.jp/kieyuku/week_repo/hatopopo221_hyoshi.pdf)

本文 [http://npg.boo.jp/kieyuku/week\\_repo/hatopopo221.pdf](http://npg.boo.jp/kieyuku/week_repo/hatopopo221.pdf)